

社協でより

ハートフル
3月号
2016年



社協の仕事について学んだぞ！



へえ～！
社協ってこんなことしよるつちやー！



塩見小学校6年生
ふくじ教育「社協の仕事って何だろう？」

2016日向市福祉のつどい

2/7
sun

地域福祉の充実発展のため、広くボランティアの結集を図り、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが福祉の心をはぐくみ、心豊かで潤いのある新しい福祉のまちづくりに寄与することを目的に開催されました。今年度は、約4,000人の方にお越しいただきました。

今年のテーマは、「**で愛・ふれ愛・たすけ愛!三つの“愛”でつながる福祉!**」

恒例となった福祉バザーやボランティア団体・福祉施設等による食べ物や商品の販売、災害への備えを学ぶ場として設置していただいた防災コーナー、ゲームやくじびきなどのふれあいコーナーなど多くの方のご支援・ご協力で大変な賑わいとなりました。

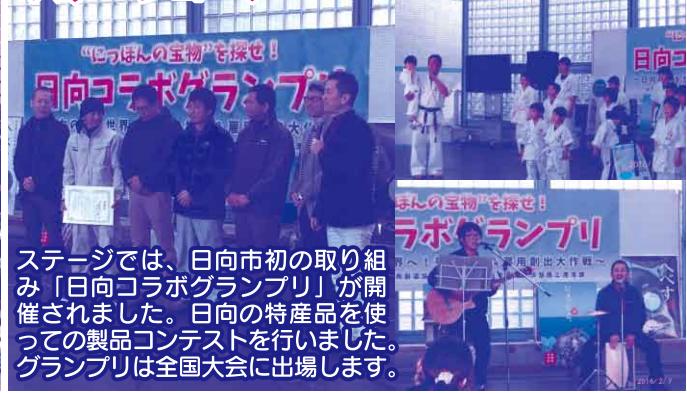


バザーコーナー



バザーコーナー大盛況!
開始数分で売り切れ続出でした!

ステージコーナー



ステージでは、日向市初の取り組み「日向コラボグランプリ」が開催されました。日向の特産品を使っての製品コンテストを行いました。グランプリは全国大会に出場します。

防災コーナー



福祉施設コーナー



ふれあいコーナー



約100名の学生ボランティアが協力してくれました!若い世代のボランティアとの出逢いも福祉のつどいの魅力のひとつです。

グルメコーナー



バザー用品をご提供いただきました企業・団体・地域住民の皆様有難うございました。また、ステージコーナーの催し物にご出演いただいた皆様ありがとうございました。

なお、福祉のつどいの益金は、ボランティア基金に積み立て、ボランティア育成、活動等に活かします。ボランティア基金が目標金額までもう少しとなりました。ボランティア基金の使い道などについては、今後検討委員会で協議し、地域の皆さまにお知らせしていきます。今後とも「福祉のつどい」へのご理解・ご協力よろしくお願ひ致します。

(日向市福祉のつどい事務局)



地域福祉コーディネーターが伝えたい!地域の福祉力!

日向市社会福祉協議会では、市内10地区に地域福祉コーディネーターを配置し、住民主体による福祉活動への情報提供や助言、支援を行っています。地域福祉コーディネーターは、担当する地域の特性や地域資源、住民そのものを巻き込んで、地域福祉活動へのきっかけを行っており、今回は2つの地域においての活動を紹介いたします。

地域の福祉力!その①

平岩まちづくり協議会地域福祉委員会

平岩地区では、平岩まちづくり協議会地域福祉委員会が設置されており、同委員会に社協の地域福祉コーディネーターが所属し、この委員会活動への助言・支援を行っています。同委員会では、重点事業として平岩9区の中で先進的福祉実践事業「地域福祉モデル事業」を掲げ、金ヶ浜区において取り組みを行いました。

◆地域福祉モデル事業のねらい!住民が

- ①ふくしの正しい意味を理解(知る)し、
ふくしに関心(気づき)を持つ。
②ふだんの暮らしをしあわせにするために、自分たちに“できる”ことを計画(考える)し、行動(動く)する。

金ヶ浜区
「福祉教育」と「地域診断」

取り組み1 福祉教育事業

12月18日(土)、福祉教育をとおして、福祉への関心と正しい理解を図り、地域住民一人ひとりの地域福祉活動に対する意識を高めるために、金ヶ浜区住民に講座「ふくしへなんだろう?」を実施しました!



取り組み2 地域診断事業

1月31日(日)、福祉の学びを活かし、地域診断(自分たちの住む地域が調べ、知る)事業を実施!診断結果から地域の5年後10年後を想像し、住民自らが自分たちにできることを考え、計画!



- ③モデル地区として、すべての過程を“力タチにして発信”し、他地区での実施意欲につなげる。

取り組み3 住民への報告(発信)

2月13日(土)、平岩地区で実施した福祉講演会において、金ヶ浜区での取り組みを報告し、平岩全域への活動拡大をアピール!



福祉教育と地域診断を終え、金ヶ浜区福祉部では新たに21名の協力者を確保できました。今後、福祉部で住民自らができるところから、取り組んでいきます。

地域福祉コーディネーターとして、福祉人財育成、組織化、地域福祉活動支援を行っていきます!!

地域の福祉力!その②

亀崎中区福祉部

日知屋枝郷地区の亀崎中区にある地域福祉組織「亀崎中区福祉部」では、地域福祉コーディネーターの助言・支援により、住民自らが考案し、企画から運営と、以下の事業に取り組みました。

取り組み1 高齢者クラブとの意見交換会

2月13日(土)亀崎中区公民館にて、地区の高齢者クラブ(むつみ会)と福祉部との意見交換会をおこないました。

高齢者の立場で、今地域で気になること、必要なこと、福祉部として取り組んでほしいことなどについてお話しいただきました。



- 【気になること、お願いしたいこと】
- ・ゴミ出しマナーなどできていらない人がいる。
 - ・育成会等との絡みがなく子どもたちとの交流の機会が少ない。
 - ・むつみ会では、毎月、班長がお宅を訪問して、顔を合わせる機会をつくっている。
 - ・亀崎中区の高齢者世帯を調査してほしい。など

福祉部として・・・

今回の意見交換を通じて、福祉部としては、高齢者クラブの支え合い(クラブ会員相互の見守りなど)を支援しながら、地域全体の高齢者世帯の把握などに取り組んでいきます。

また、地域住民とのお知りあいの関係性をいかにつくっているかを考えていく必要があると実感しました。

(亀崎中区福祉部)

取り組み2

地域福祉講演会

「一人ひとりが主人公、一人ひとりがサポートー」

2月18日(木)大王谷コミュニティセンターにて、福祉部主催の地域福祉講演会を実施しました。

当日は、亀崎地区ならびに福祉専門職など72名の参加がありました。

講師は九州保健福祉大学の川崎順子准教授を招き、住民相互の支え合いの仕組み「地域包括ケアシステム」についてご講話いただきました。

住民目線のわかりやすい講座で、自分たちが地域で“できること”について学びました。



川崎順子氏
未来のふくしまんを育てるのはもちろんのこと、県内ののみならず全国の福祉関係研修の講師など活躍されています。

このような取り組みを地域で、地域住民が行なうことは今後の地域社会の中で大変重要なことです

私たち社協の地区担当は、地域福祉に関する住民の想い(困りごと・要望)をいち早くキャッチし、想いを活動につなげていきます。ふくしについての説明、福祉部の設置について、困りごとの相談など、いつでも社協にご連絡ください。」

認知症、みんなで知る。地域で考える。 第6回日向市認知症フォーラム開催!



第6回認知症フォーラムが1月24日(日)に日向市中央公民館にて開催されました。国内では、記録的な大寒波が襲った寒い中でしたが、300名を超える方の参加があり、多くの地域住民の皆様と“認知症”について、知り、考える機会となりました。認知症フォーラムは、3部構成で展開され、どの内容も充実したものとなりました。

| 第1部「体験発表」 | 第2部「行政説明」 | 第3部「認知症ふくし劇」 |
|---|--|--|
| <p>第1部では、甲斐真由美さんより、認知症のおじいちゃんと過ごした日常を言葉、絵、文字で伝えていただきました。</p> <p>地域で暮らす認知症の方、支える家族の方、それぞれの想いを感じ、考えさせられる素晴らしい講演でした。</p>  | <p>第2部では、行政より日向市の認知症支援の新たな施策「認知症初期集中支援チーム」についての説明がありました。</p> <p>少しでも早い段階で認知症の方や、その家族を支援につなげる仕組みとして、今後専門職が担う役割を地域の皆さんと共有しました。</p>  | <p>第3部では、劇団社協によるふくし劇「だいじょうぶ！だいじょうぶ！」が行われました。</p> <p>認知症の人やそのご家族を支えるために、子どもから高齢者まで、それが地域で“できること”について、来場者と共に考えました。</p>  |

参加者アンケート ~たくさんの想いをいただきました~

- 第一部の体験発表の中での“人を大事にする人は、人に恵まれる”という言葉がとても心に残りました(20代男性)
- 家族や身近な人が認知症になっても“だいじょうぶ”と思えました。何かあつたら相談できるところが沢山あることが分かりました(40代女性)
- 認知症の現状、対策、地域のつながり、支え合いの輪が広がっていることがよく解りました。認知症になってもならなくともみんなが“だいじょうぶ”といえる日向市をつくっていきましょう(50代男性)
- 認知症は悪いことばかりではない、という考えに自分が変化した。よい家族、よい社会人、よい住民になりたい(30代女性)
- 認知症になっても自分らしく生活できるようにまわりとつながってみたい(30代女性)

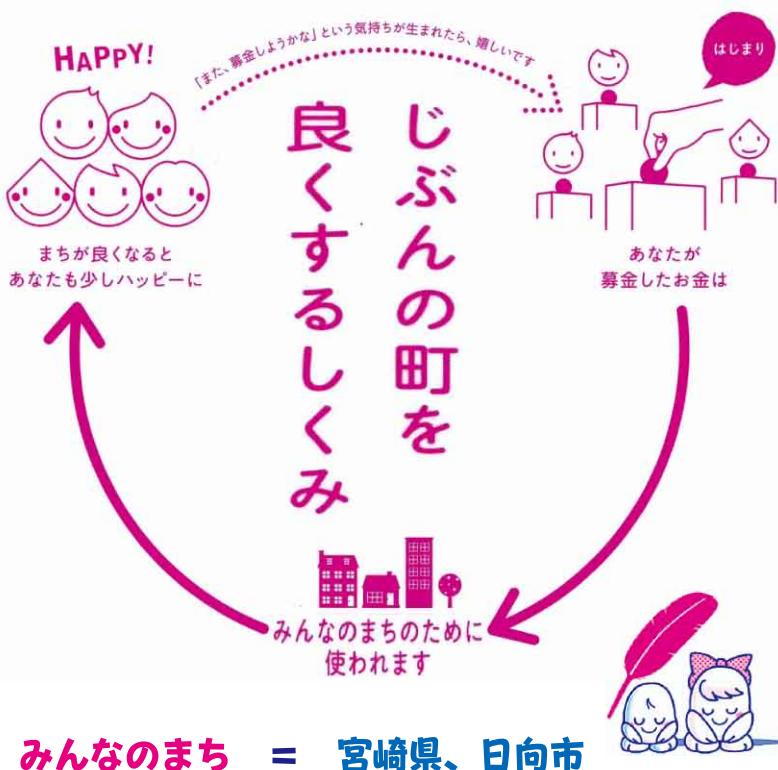


フォーラムにて講演された甲斐真由美さんが認知症のおじいちゃん（寅市さん）との日常を描いた日記「寅市つれづれ日記」は現在、大王谷コミュニティセンターで展開中の「認知症の人に優しい図書館プロジェクト」にて読むことができます。認知症に関する図書の貸し出しも行っていますので、ぜひ、一度足を運んでみてください。
※お問い合わせは社協 (52-2572) まで

赤い羽根共同募金最終実績

今年度も、昨年の10月より取り組んできました赤い羽根共同募金運動が無事に終了いたしました。区長公民館長をはじめ、民生委員児童委員、ボランティア連絡協議会会員などのご協力を得て、市民の皆様、企業・法人の皆様からたくさんの方々の募金をいただきました。

共同募金のキャッチフレーズである「じぶんの町を良くするしくみ」は、皆様からいただいた募金が地域における福祉活動を資金面から支えることで、皆さん自身の住む町（地域）が良くなっていくことを意味しています。



平成27年度赤い羽根共同募金実績
単位：円

| 区分 | 募金実績（円） |
|--------|-------------|
| 戸別募金 | 3, 320, 896 |
| 街頭募金 | 636, 768 |
| 法人募金 | 1, 635, 197 |
| 学校募金 | 109, 484 |
| 職域募金 | 682, 342 |
| その他の募金 | 356 |
| 募金合計 | 6, 385, 043 |

宮崎県全体で使われる募金 **3,948,000円** 運動費・施設改修や車両購入などの助成

日向市で使われる募金 **2,437,043円**



高齢者福祉活動費

130,000円

介護保険制度などを使わずに、在宅生活を家族介護されている方たちの団体や高齢者クラブ連合会の活動に活動費助成を実施。



障がい児者福祉活動費

760,000円

当事者団体や家族の会などの活動や地域住民との交流活動を支援するため、活動費助成を実施。



児童・青少年福祉活動費

710,000円

日向市保育協議会で企画・実施されるイベント費用の助成や市内の小中学校における福祉教育活動への助成、県北里親の会や母子寡婦福祉連絡協議会への活動費助成を実施。



住民全般福祉活動費

837,043円

区長公民館長連合会や民生委員児童委員協議会などの地域を基盤として活動する団体の活動費助成やボランティア連絡協議会に加盟するボランティア団体で助成を希望する団体への活動費助成を実施。

直接、福祉活動ができなくても「募金」という方法でその活動を手助けすることができ、共同募金は「じぶんの町を良くしたいという想いを届ける一つの方法」です。
今年もたくさんの想い（募金）をありがとうございました。大切に使わせていただきます。

【募金や助成金に関する問い合わせ】

宮崎県共同募金会日向市共同募金委員会（日向市社会福祉協議会内）TEL52-2572 FAX52-9562

ボランティア・市民活動センター情報

～災害ボランティアセンター編～



坂本美和さん
福島県南相馬市出身

東日本大震災後、日向市東郷町に避難。「南相馬と日向をつなぐ会」の代表として、避難者と日向市を繋げる活動や、震災の体験を伝える防災講演会の開催など、防災意識の向上に取り組んでいる。

東日本大震災から今年で5年を迎えます。5年経った今でも被害のあった地域では、建物の復旧や放射能除染作業が続けられています。

現在、17万8千人の方が被災地から全国各地に避難されており、宮崎県には、228名（H28.1.14現在）の方が避難先での生活を送っています。

今回、日向市東郷町に避難されている坂本美和さんに、5年を迎えた今の想いと、私たち日向市民に伝えたいこと、取り組んでいくべきことについて話を伺いました。

Q.震災から5年を迎えた今、復興状況や避難区域の解除など様々な動きが出ていますが、そのことについて素直な気持ちをお聞かせください。

A.私が住んでいた南相馬では、4月に避難区域が解除される予定ですが、先に解除された地域でも、放射能数値が高い地域もあり、避難者は自己責任で地元に帰ることになります。そんな中で、子どもたちが帰るという事を考えた時に、不安はたくさんあります。

Q.被災体験者として改めて日向市に暮らす皆様に伝えたいこと、こんなことに取り組んでほしいなどがありましたらお聞かせください。

A.日向市でも電信柱などに海拔などが記されていますが、予想されている津波の高さ（15M）などイメージが全体で共有されていないと思います。

もし今地震や津波に襲われたら…、避難所で暮らすことになったら…などあらゆる状況を想像して日々暮らしてほしいと思います。また、「震災の教訓を活かした未来づくり」を進めていってほしいと思います。

先日、改めて私の子どもに「震災のことや、原発のこと、避難のことについてどう思う？」と聞いてみると、「絶対同じことを繰り返してはいけない」という事を言っていました。自然に逆らうことはできないけれど、自分たちにできることを続けていて、いつまでも“風化させない”ようにしていきます。

今回想いを聴かせていただき、改めて防災に対する意識を高めることや、備えの重要性について考えさせられました。

平成28年度は、震災体験者の話や想いを組み込んだ訓練および研修会などを地域住民の皆様を巻き込みながら行なっていきます。ぜひ、ご協力をよろしくお願ひいたします。
日向市災害ボランティアセンター担当：五十川

ボランティア活動をされている方は必見！

ボランティア保険切り替えの時期になりました



ボランティア活動中に怪我をした、体調を崩した、そんな時に頼りになるのが「ボランティア保険」。日本国内でのボランティア活動中の怪我や賠償責任を補償してくれます。今回は、ボランティア保険の中でも、「ボランティア活動保険」と「ボランティア行事用保険」についてご紹介します。

ボランティア活動保険

日本国内におけるボランティアで、保険の対象範囲内で、1年間（平成28年度内）の活動中のケガや賠償責任が補償される保険です。



[対象となるボランティア活動]

- ・グループの会則により企画、立案された活動であること。（団体が社会福祉協議会にボランティア登録していることが必要です。）
- ・社会福祉協議会に届け出た活動であること。
- ・社会福祉協議会に委嘱された活動であること。

【保険料金の紹介】

| 年間保険料 | | Aプラン | Bプラン |
|-------|-------------|------|------|
| | 基本タイプ | 300円 | 450円 |
| | 天災タイプ | 430円 | 650円 |
| | 基本+地震・噴火・津波 | | |

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任が補償されます。

行事等においては、行事参加者全員のケガを補償します。

【保険をかける際の料金紹介】

イベント1日開催につき一人28円

※20名から受け付けております。20名以下の場合は20名分の保険をかけていただくことになります。



ボランティア保険全般に関するお問い合わせ
日向市ボランティア・市民活動センター
TEL: 52-2577 担当: 五十川裕真



伊勢区

上村 正子さん(71歳)

上村さんは、細島まちづくり協議会の福祉健康部長を務め、細島地区的地域づくりに汗を流されています。今年度の福祉健康部会は、救急救命訓練、徘徊模擬訓練、健康づくり講演会を三本柱として活動し、住民の健康や福祉の向上に努めて来られました。また、日向市役所細島支所周辺の花づくりをボランティアで実施しており、支所を訪れる方の目を楽しませています。自宅周辺の溝に落ちている枯れ葉などを利用して、土づくりを行ながながら花を育てるので、一石二鳥ですとこやかに話されます。

このほか、地域のいきいきサロンの手伝いをされています。今年度は高校生と高齢者との交流を行い、お互いの世代の認識を深めることができ非常に良かったそうです。

さらに、太極拳や書道を習うなど充実した日々を送っているとのことです。



花の成長には水遣りが欠かせません。

ご協力お願いします!

~食糧支援事業(フードバンク)~

「日向市生活相談・支援センター心から(ここから)」では、様々な生活上の相談を受け、自立に向けた支援を行っています。その支援の一環として『食糧支援事業(フードバンク)』を実施しております。ご家庭で眠っている食品等ありましたら、ぜひご協力をお願いいたします。

『食糧支援事業(フードバンク)』とは?
ご家庭で眠っている食品等をご寄付いただき、生活に困窮している方や福祉施設等に無償で提供する取り組みです。

受付窓口

日向市総合福祉センター事務所窓口

~寄贈いただきたい食品例~

- お米、うどん、そば、パスタ
- 乾物 ○缶詰・瓶詰食品
- フリーズドライ食品 ○レトルト食品
- インスタント食品 ○調味料各種、食用油
- 飲料 ○ギフトパック(贈答品の余剰など)

-注意事項-

※賞味期限が明記されているもの

※常温保存が可能で賞味期限が1ヶ月以上あるもの

※未開封であるもの

※お米は常識の範囲内で古くないもの

※食品の状態などによってはお断りする場合があります

『もったいない』を『ありがとう』に♡



ご協力いただいている食品

【発行者】

社会福祉法人

日向市社会福祉協議会

[日向市ボランティア・市民活動センター]



きいちゃん ひまたん [日向本所]

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

<香典返し> 敬称略

平成28年1月分

| 喪主(または寄付者) | 故人 | 地区 |
|------------|--------|------|
| 中嶽 洋子 | 中嶽 征次 | 切島山1 |
| 森岡 英人 | 森岡 サチエ | 切島山2 |
| 三樹 むつえ | 三樹 宣子 | 曾根 |
| 中武 辰雄 | 中武 葉子 | 日向台 |
| 高沢 利津子 | 高沢 常男 | 亀崎東 |
| 長埜 公夫 | 長埜 ミスナ | 落鹿 |
| 岩木 千穂子 | 岩木 ミヨ子 | 東草場 |
| 関谷 道子 | 関谷 金義 | 往還 |
| 児玉 トメ子 | 児玉 笠雄 | 金ヶ浜 |
| 中田 忠 | 中田 まさ | 鶴野内 |
| 富山 善一 | 富山 幸市 | 吉野川 |
| 吉田 クミ子 | 吉田 重喜 | 往還 |
| 海野 純一 | 海野 米乃 | 越表 |
| 黒木 次男 | 黒木 イチ | 広見 |
| 川野 ツネ | 川野 敏美 | 笠野東 |
| 矢野 秀朋 | 矢野 茂子 | 江良 |

<一般寄付金> 敬称略

平成28年1月分

| 氏名・団体名 |
|----------------------------|
| 日向市消防団 女性消防部 庄手ボランティアコスモス会 |

社協日記

保育所や幼稚園の卒園は、次のステップへの新たなスタートとなります。社協は、放課後児童クラブ事業を市から受託し運営していますが、これまで児童クラブへの加入を希望する子どもたちの一部を受け入れできない状況がありました。新年度から、一部加入できなかった3つの児童クラブにおいて1クラスずつ増設されることになりました。

児童クラブは、放課後の児童健全育成と子育て世代の就労支援等を行う目的で実施されており、加入希望者が増加傾向にあります。本市の子ども・子育て支援事業計画では、将来、高学年についても受け入れ体制を整えていくことになっています。

「子に過ぎたる宝なし」という諺があります。お金やどんな宝物も人間にとって、人生にとって、子どもに勝るものはなく、子どもが一番の宝であるという意味です。

子育て支援については、国の新年度予算で児童扶養手当の増額や保育料軽減など様々な施策が展開されようとしています。安心して生活していくためには、宝物である子どもの保育の充実や財政的な支援等は大変ありがたいことです。子どもは、保護者にとって宝ですが、これから社会を担っていく人材として地域や国の宝でもあります。安心して子育てできる環境をつくりあげていきたいものです。

(ひこびー)

【東郷支所】

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274



この情報誌は再生紙を利用しています。

印刷所 有限会社 第一印刷